

2013年3月期 第1四半期決算説明会



スズキ株式会社
2012.8.2

(億円)

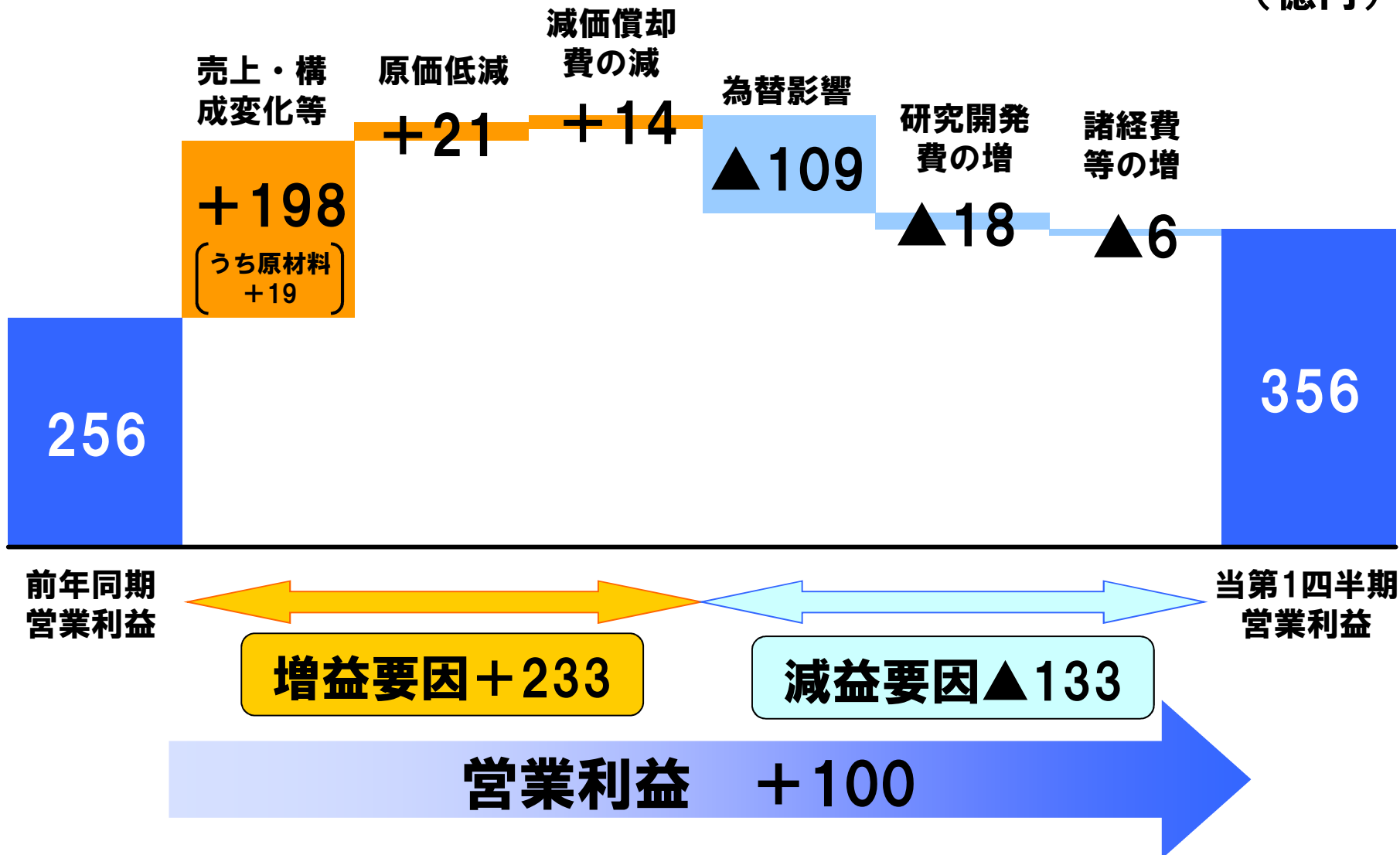
	当第1四半期 (’12/4-6)	前年同期 (’11/4-6)	増 減	
				増減率
売上高	6,448	6,073	+ 375	+ 6.2%
国内	2,670	2,016	+ 654	+32.4%
海外	3,778	4,057	▲ 279	▲ 6.9%
営業利益 (利益率)	356 (5.5%)	256 (4.2%)	+ 100	+39.4%
経常利益 (利益率)	402 (6.2%)	288 (4.7%)	+ 114	+39.9%
四半期純利益 (利益率)	245 (3.8%)	187 (3.1%)	+ 58	+30.6%

(億円)

	二輪			四輪			特機等			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	56	60	▲4	2,569	1,913	+656	45	43	+2	2,670	2,016	+654	
海外計	539	694	▲155	3,150	3,260	▲110	89	103	▲14	3,778	4,057	▲279	▲525
欧州	87	145	▲58	592	777	▲185	27	37	▲10	706	959	▲253	▲85
北米	87	148	▲61	132	150	▲18	44	44	+0	263	342	▲79	▲7
アジア	249	294	▲45	2,110	2,013	+97	5	8	▲3	2,364	2,315	+49	▲428
その他	116	107	+9	316	320	▲4	13	14	▲1	445	441	+4	▲5
総合計	595	754	▲159	5,719	5,173	+546	134	146	▲12	6,448	6,073	+375	▲525
内、為替 換算影響			▲38			▲483			▲4			▲525	

※当期・・・2012年4～6月期、前期・・・2011年4～6月期

(億円)

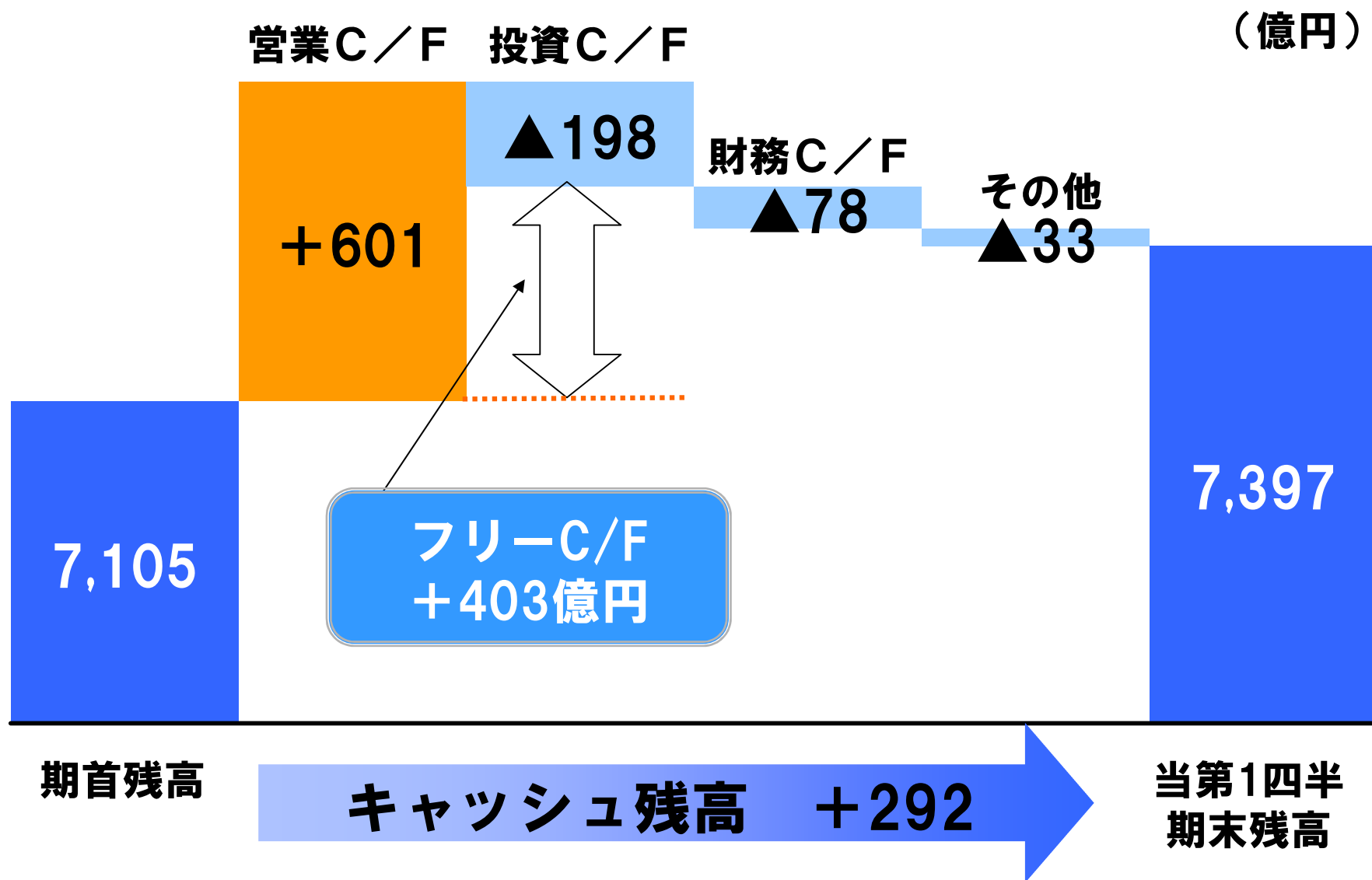


	当第1四半期 ('12/4-6)	前年同期 ('11/4-6)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	80円	82円	▲ 2円	▲ 2億円
ユーロ	103円	117円	▲14円	▲23億円
インド ルピー	1.50円	1.85円	▲0.35円	▲59億円
その他	—	—	—	▲25億円
計				▲109億円

(億円)

	当第1四半期 ('12/4-6)	前年同期 ('11/4-6)	増 減
(当社単独)	105	52	+53
(子会社)	223	275	▲52
設備投資	328	327	+ 1
減価償却費	236	250	▲14
研究開発費	238	220	+18

	当第1四半期末	前年同期末		前期末	
	('12/6末)	('11/6末)	増 減	('12/3末)	増 減
有利子負債残高	4,318	4,763	▲445	4,398	▲80



(億円)

《二輪》

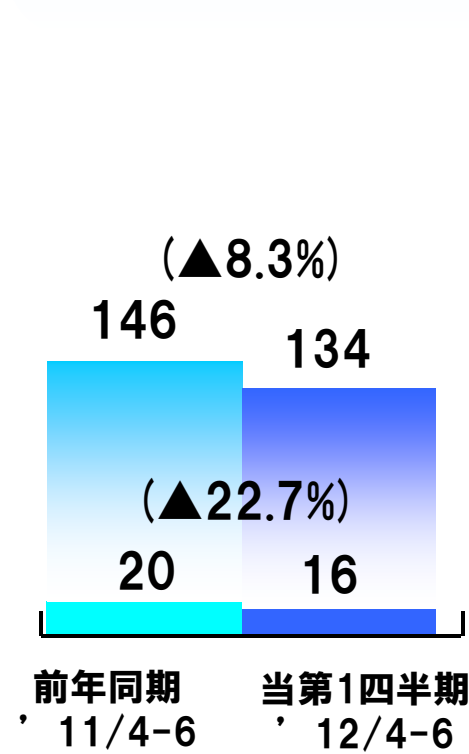
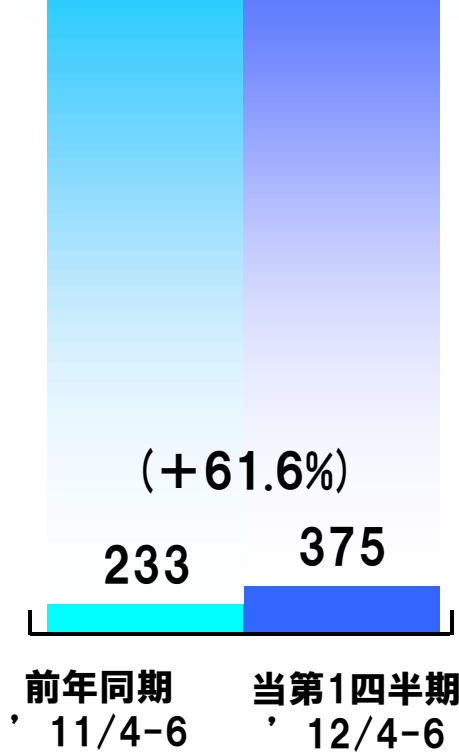
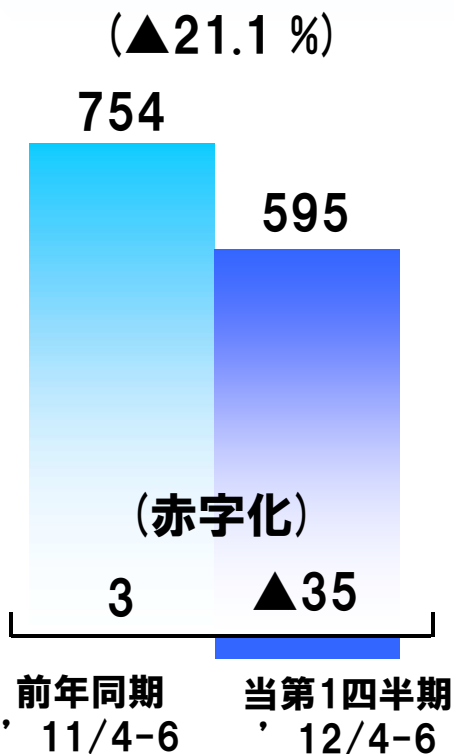
《四輪》 (+10.5%)

《特機等》

売上高

前年同期

当第1四半期



営業利益

前年同期

当第1四半期

(億円)

売上高

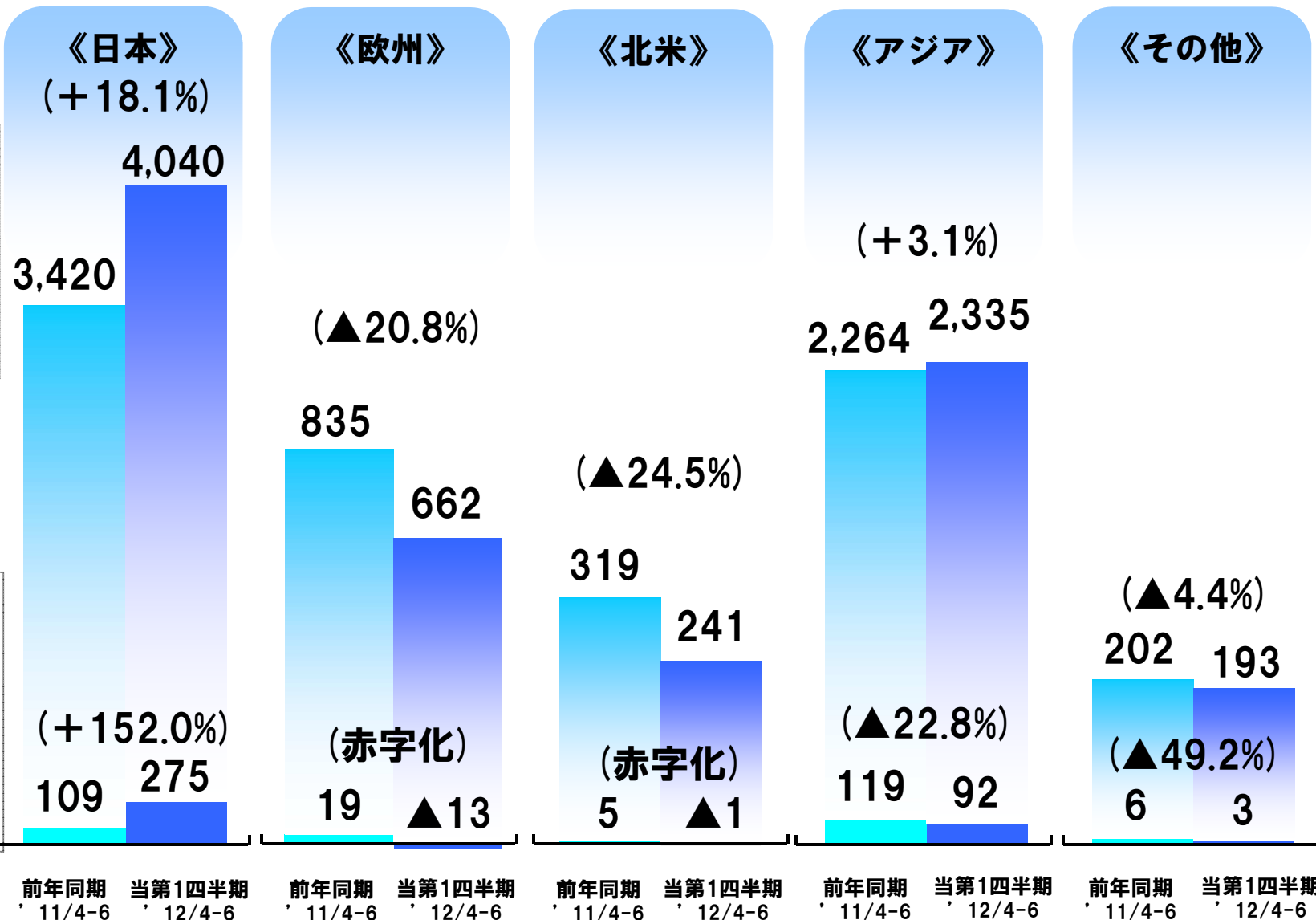
前年同期

当第1四半期

営業利益

前年同期

当第1四半期



	当第1四半期末	前年同期末		前期末	
	('12/6末)	('11/6末)	増減	('12/3末)	増減
連結 子会社数	135社	141社	▲6社	138社	▲3社
持分法適用 関連会社数	36社	38社	▲2社	37社	▲1社
従業員数	55,439人	53,964人	+1,475人	54,484人	+955人

(5月10日公表より為替前提を変更。売上・利益目標は変更なし)

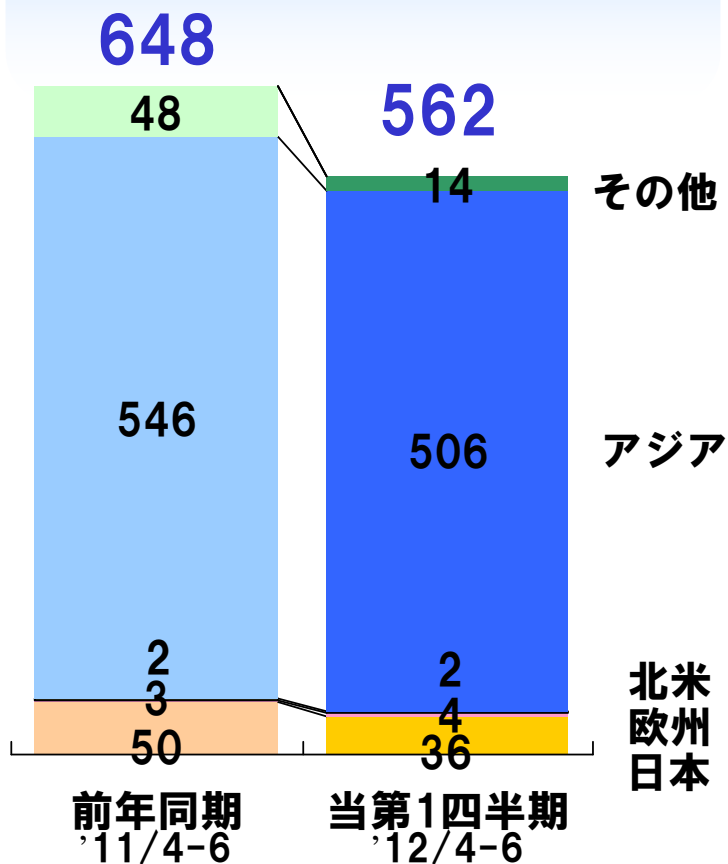
(億円)

		今回予想	前期実績比較		前回予想比較	
			前期実績	増減	前回予想	増減
売上高		26,000	25,122	+878	26,000	—
営業利益		1,200	1,193	+7	1,200	—
経常利益		1,350	1,306	+44	1,350	—
当期純利益		700	539	+161	700	—
為替レート	米ドル (2Q以降)	76円 (75円)	79円	▲3円	75円	+1円 (—)
	ユーロ (2Q以降)	97円 (95円)	109円	▲12円	105円	▲8円 (▲10円)
	インドルピー (2Q以降)	1.43円 (1.40円)	1.68円	▲0.25円	1.55円	▲0.12円 (▲0.15円)
営業利益増減	売上・構成変化等	+437	▲542		+327	+110
	原価低減	+270	+226		+270	—
	為替影響	▲360	▲289		▲250	▲110
	諸経費等	▲150	+433		▲150	—
	減価償却費	▲140	+353		▲140	—
	研究開発費	▲50	▲57		▲50	—
計		+7	+124		+7	—

(千台)

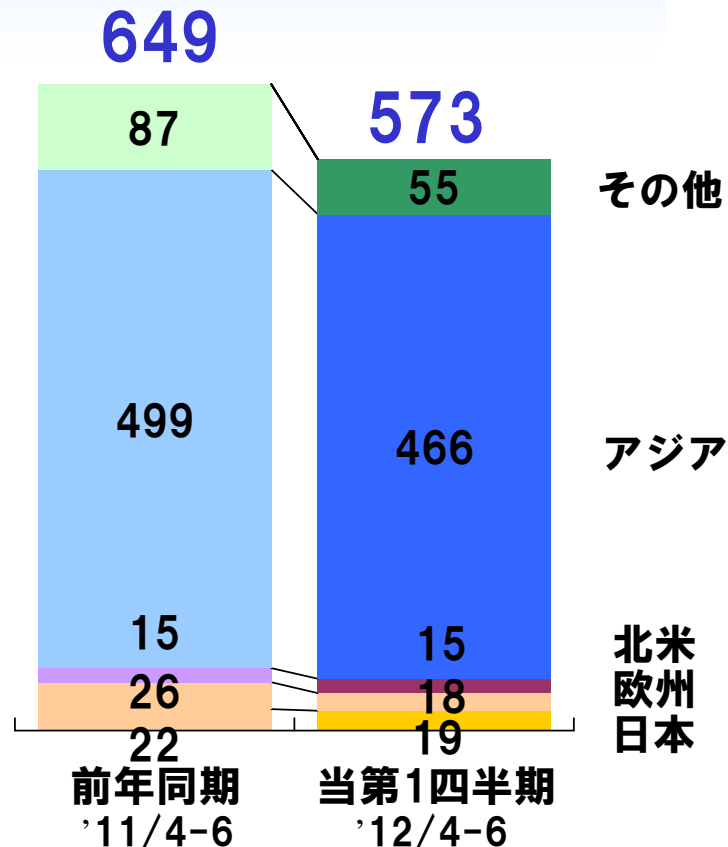
《第1四半期 生産台数》

▲86千台(▲13.3%)



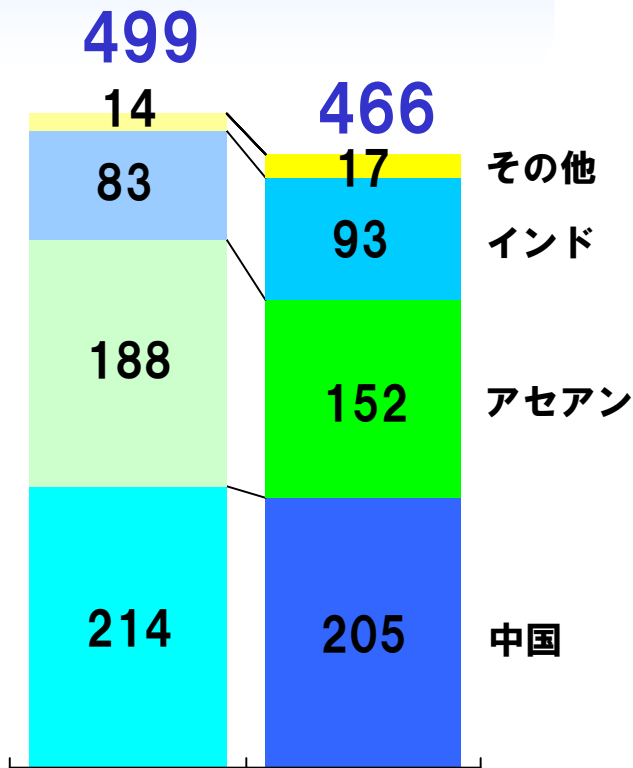
《第1四半期 販売台数》

▲75千台(▲11.6%)

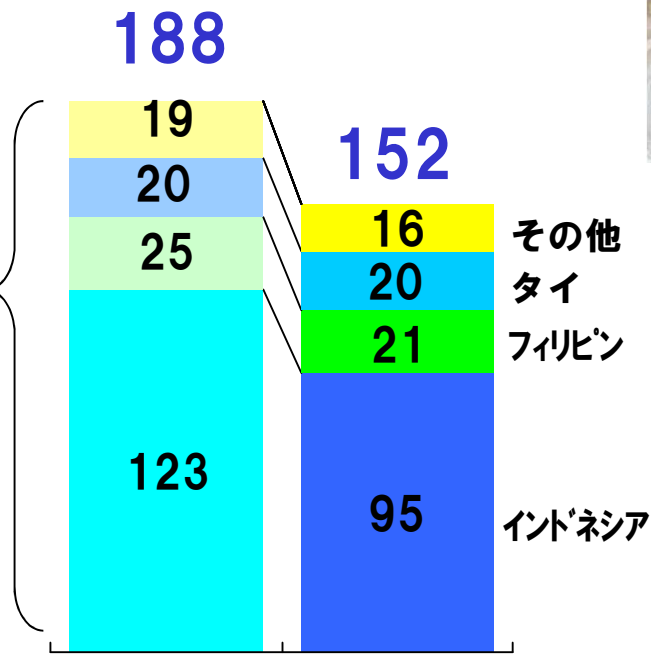


（千台）

《第1四半期実績》
▲33千台(▲6.6%)



《アセアンの内訳》
▲36千台(▲19.1%)



Hayate (India)



Satria F150 (Indonesia)

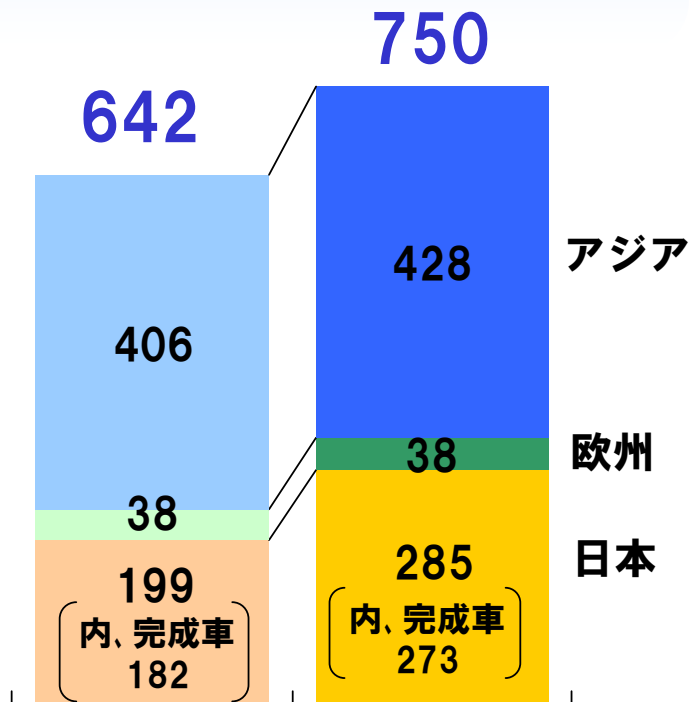
前年同期 '11/4-6
当第1四半期 '12/4-6

前年同期 '11/4-6
当第1四半期 '12/4-6

※アセアン：インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム 5ヶ国合計

(千台)

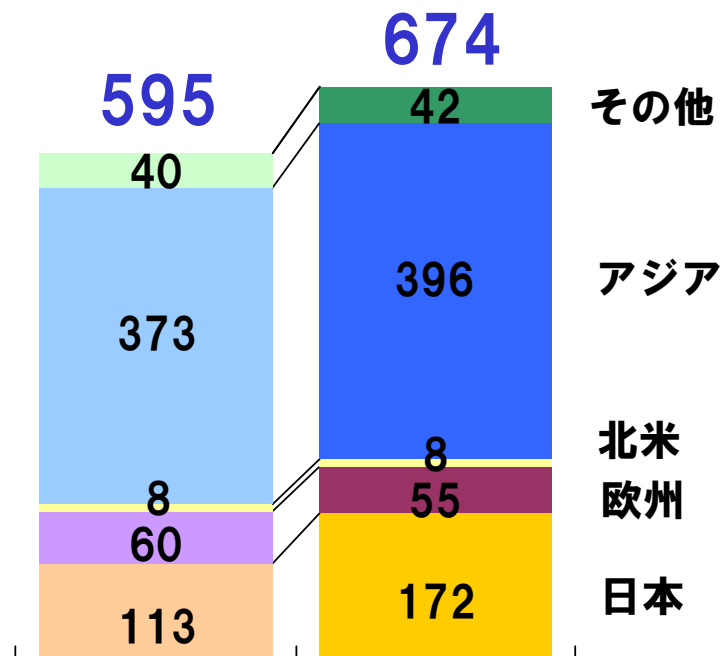
《第1四半期 生産台数》
+108千台(+16.8%)



前年同期
'11/4-6

当第1四半期
'12/4-6

《第1四半期 販売台数》
+79千台(+13.2%)

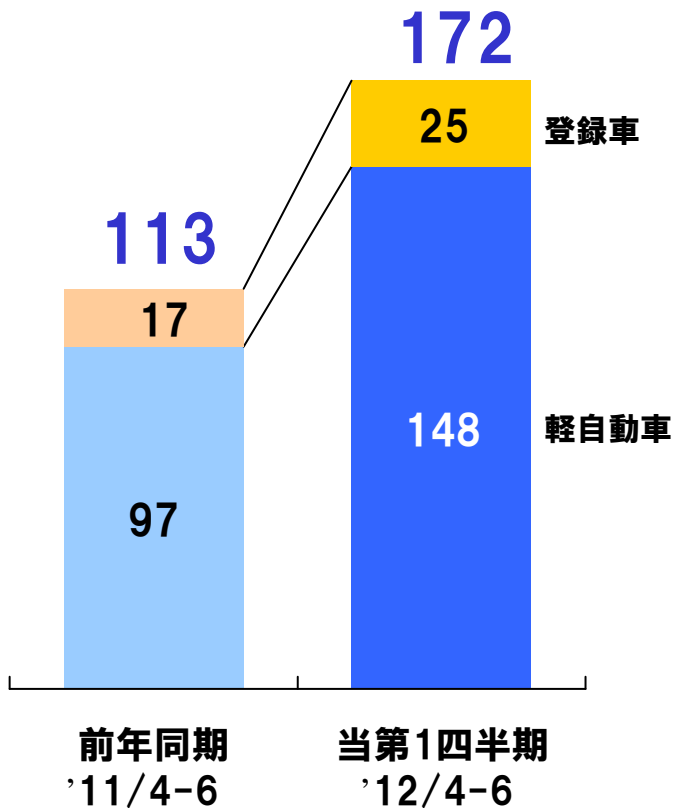


前年同期
'11/4-6

当第1四半期
'12/4-6

《第1四半期実績》

+59千台(+51.8%)



ソリオバンディット

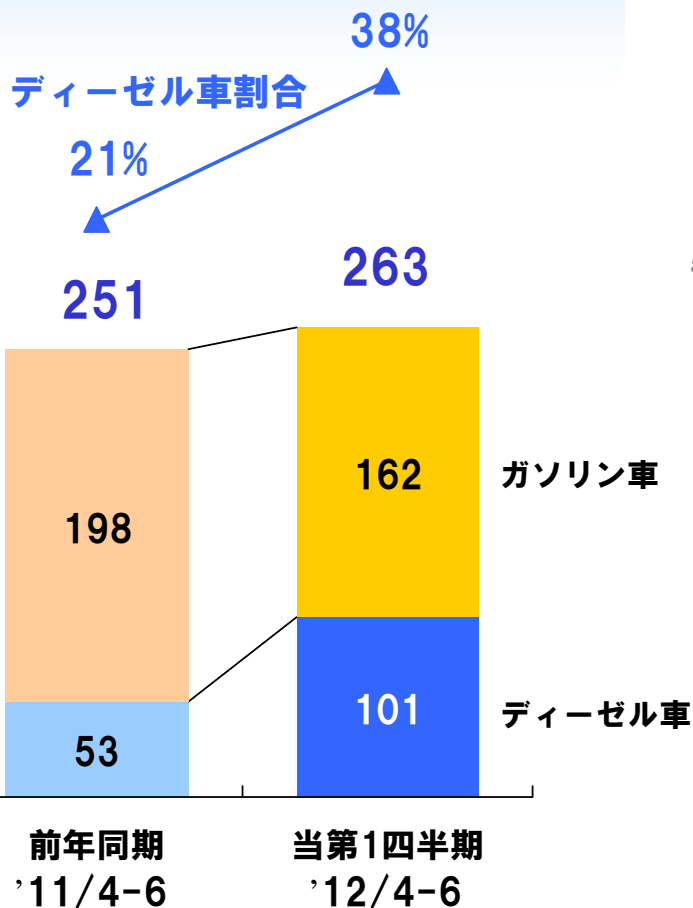
(千台)



アルトエコ

（千台）

《第1四半期実績》
+13千台(+5.0%)

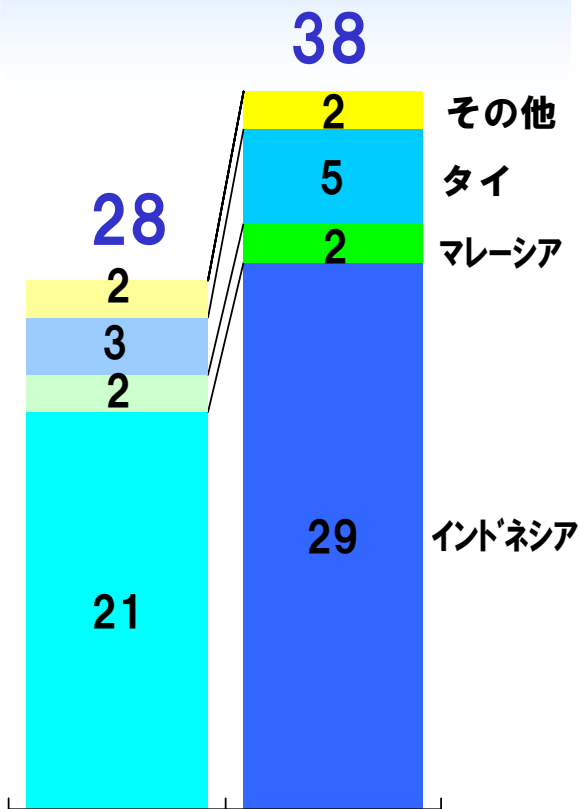


Ertiga (India)



Swift Dzire (India)

《第1四半期実績》
+10千台(+37.0%)



Swift (Thailand)

(千台)



Interior Seat of Ertiga (Indonesia)

前年同期 '11/4-6 当第1四半期 '12/4-6

※アセアン：インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム 5ヶ国合計

(二輪車の生産・販売台数について、5月10日公表より変更)

(千台)

		通期生産台数					通期販売台数				
		今回 予想	前期実績		前回予想		今回 予想	前期実績		前回予想	
				増減		増減			増減		増減
二 輪 車	国内	167	174	▲7	171	▲4	77	78	▲1	82	▲5
	欧州	11	11	▲0	12	▲1	51	67	▲16	62	▲11
	北米	6	7	▲1	6	—	47	48	▲1	51	▲4
	アジア	2,373	2,179	+194	2,706	▲333	2,291	2,059	+232	2,611	▲320
	その他	95	203	▲108	119	▲24	237	336	▲99	260	▲23
	合計	2,652	2,574	+78	3,014	▲362	2,703	2,589	+114	3,066	▲363

(四輪車の生産・販売台数については、5月10日公表より変更なし)

四 輪 車	国内	1,088	1,020	+68	1,088	—	639	596	+43	639	—
	欧州	171	174	▲3	171	—	227	223	+4	227	—
	北米						33	32	+1	33	—
	アジア	1,804	1,609	+195	1,804	—	1,742	1,550	+192	1,742	—
	その他						170	160	+10	170	—
	合計	3,064	2,803	+261	3,064	—	2,811	2,560	+251	2,811	—

2013年3月期 第1四半期決算説明会



- ・精悍で存在感のあるスタイリングと扱いやすいエンジン特性を特長とする新型ロードスポーツバイク「GSR250」を、7月18日に発表。7月30日より日本で発売。
- ・力強いデザインで反響を呼んだ大型バイク「B-KING」（輸出用、1340cm³）のイメージを受け継いだロードスポーツバイク。
- ・2012年1月より中国で「GW250」として販売開始。欧州・中南米でも販売を計画。

GSR250 (日本)

スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場)などが含まれます。